新しい学びプロジェクト参加に関わる

授業研究記録等の使用について（お願い）Q&A

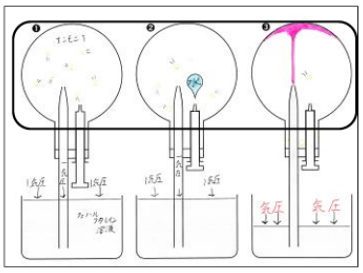
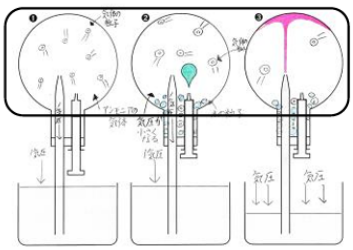
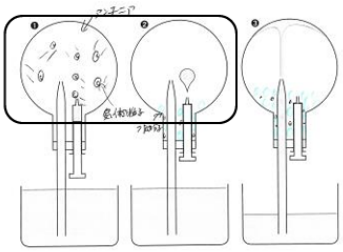
Q1：何が目的なのですか？

A1：安芸太田町では、子どもたちが積極的に授業に関わるための協調学習を進めています。そのため授業では、子どもたちの映像と音声を録音・録画し子どもたちの学ぶ様子を見取り、教員の授業力向上に活かしています。今後は、町内はもちろんですが、全国の授業研究組織（CoREF）と連携して、よりよい授業のための教材として活用したいと考えています。

そのために、子どもたちの学習記録（映像・音声等）をネット上で使用することについてご理解いただきたいのです。

Q2：「児童生徒が授業中に書いたもの（プリント等）」ってどんなもの？ どう見せるの？

A2：下記のようにクラスの中から無作為に選んだ 3 名の児童生徒さんの授業の最初に書いたものと最後に書いたものを意味します。先生が書き写せない図表などは、下の通り、そのままスクリーンショットをはりますが、匿名なので誰のものかは特定されにくいです。

	授業前	授業後	
生徒1	少量の水がフラスコの中のなにかの気体がはんのうして水を吸い上げた	①丸底フラスコの中にはアルカリ性のアンモニアが入っていて、ビーカーの中にはフェノールフタレイン溶液が入っている。①の時は中の気圧と外の気圧が同じなので水があがってきません。 ②丸底フラスコの中にはアンモニアの粒子がたくさん飛んでいます。注射器の水をフラスコに入れることによってアンモニアの粒子が少なくなり中の気圧が小さく外の気圧が大きくなったのでビーカーの水がフラスコに上がってきました。 ③ビーカーの水が赤くなったのは、ビーカーのフェノールフタレインとフラスコのアンモニア(アルカリ性)がまざりあってアルカリ性がはんのうして赤くなった。	
生徒2	かわいた丸底フラスコの中の気体と水が混ざったから。	①ビーカーの中の水は、フェノールフタレイン溶液が入っていますs。なぜフェノールフタレイン溶液かというと、リトマス液やBTB溶液は無色にならないけど、フェノールフタレイン溶液は無色だからです。そして、丸底フラスコの中には、アンモニアが入っています。理由はアンモニアはアルカリ性に反応するからです。 ②次に、注射器の中の水が入ると、アンモニアの気体の粒子が水の粒子と混ざって、アンモニアが水に溶けて、水の粒子の中に入り、溶けます。また水が吹き上がる理由は、フラスコの中のアンモニアの気体がうすくなることで、外と中の気圧が変わるからです。 ③最後に、水が赤くなる理由は、フェノールフタレイン溶液と丸底フラスコの中のアンモニアが混ざって反応して赤くなったと思います。	
生徒3	注射器の水を入れた事によって、気体がなんかなって水がきた	①の丸底フラスコの中には、アンモニアが入っています。なぜ、アンモニアかというと、アンモニアは水によく溶けるし、空気より軽いから、ガラス管を通って外に出ないからです。ビーカーの中にはフェノールフタレイン溶液が入っています。なぜフェノールフタレイン溶液かというとアンモニアはアルカリ性なのでリトマス液とBTB溶液では、アルカリ性に反応すると青色になるから、フェノールフタレイン溶液です。 ②で、少量の水を入れることで、アンモニアがとけて、気体がうすくなり、気圧が下がるので、外の気圧にまけるから、水が上がってくる。 ③は、フェノールフタレイン溶液にアンモニアがとけて赤色になって、ふん水がおこった。	

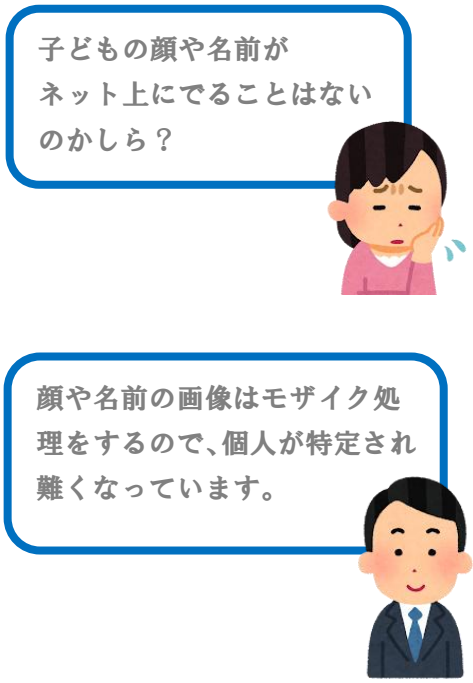
こんな風に授業の最初から比べると最後にとてもたくさん充実した内容を書けるようになっていることや、みんなで同じ答えを書き写しているのではなくて、自分なりにわかったことを書いていることを確かめ、どうやって話し合ってこんな答えにたどり着いたのだろう？と検討します。



Q3：「授業中の音声記録や映像記録」ってどんなもの？ネット上にアップされてしまうの？

A3:授業中に3,4名で話し合っているときのグループの記録やクラス全体で答えを発表しているときの様子です。ただし、アップするのは、グループの全員やクラスの全員の同意が取れた場合に限ります。また、ビデオは次のようにモザイクがかかった状態になりますので、個人が特定されにくいです。いったん同意したとしても、後で取り下げることができ、その時点でネット上から情報を削除します。





Q4：その他の「ネット上」というのは具体的にどこ？

A4：授業研究のための「新しい学びプロジェクト」に参加するメンバー限定のホームページにアップします。

※疑問な点などありましたら、お問い合わせください。
（安芸太田町教育委員会教育課☎22-1212）